

みなゴンとこうくん

みなかみ町の^{まち}
ふしぎな冒険^{ぼうけん}の



さく・え あやか

企画 みなかみ町絵本コンテスト

みなゴンとこうくん

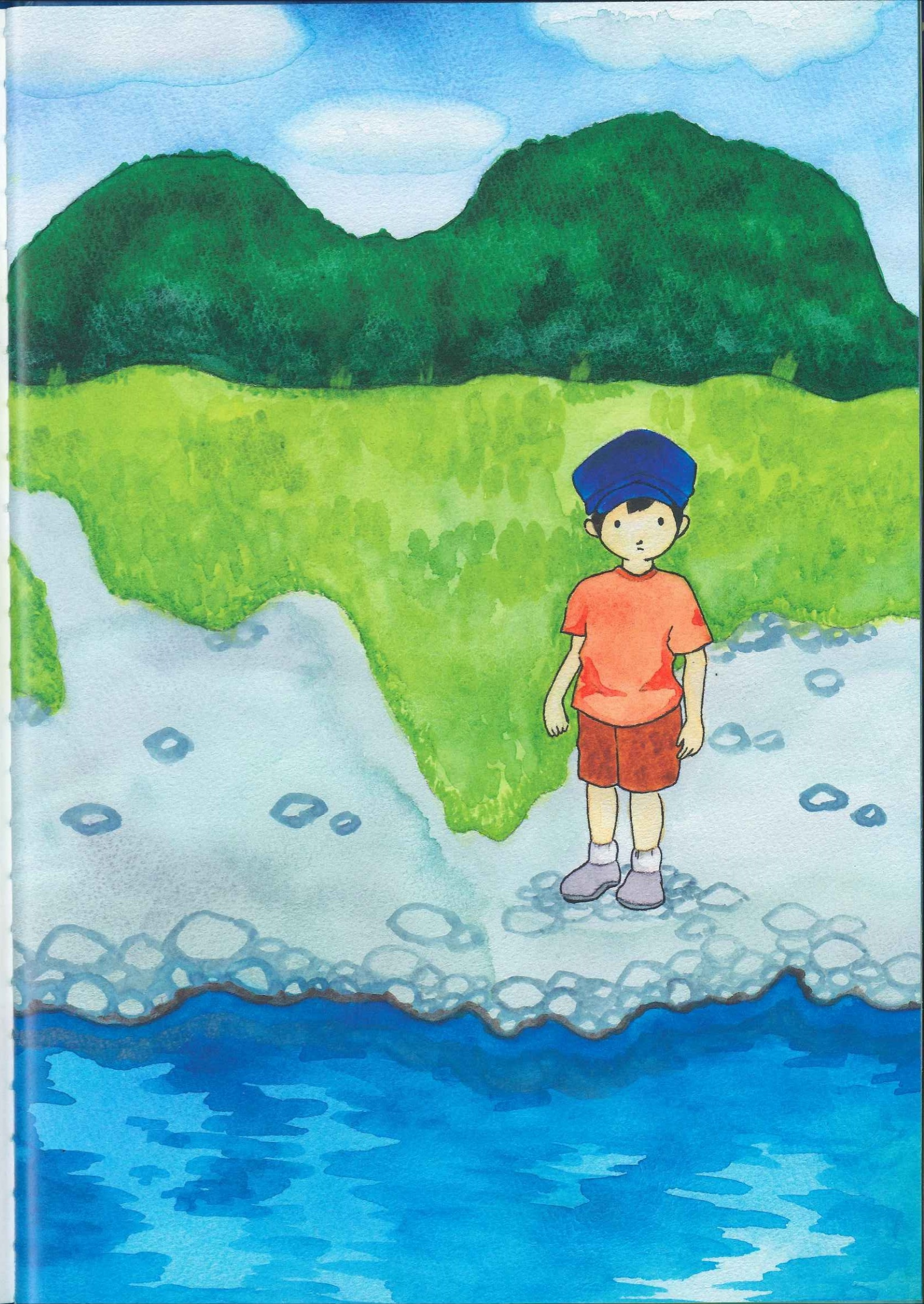
みなかみ町の^{まち}
ふしぎな冒険^{ぼうけん}の

さく・え あやか



リーブル出版

こうくんは、なつやすみに おかあさんと、
ぐんまけんの おばあちゃんのいえに やってきました。
だけど、こうくんは、ぐんまけんには おともだちもいなくて、
なんだか つまらないようです。
こうくんが、かわらを さんぽしていると、
「えーん、えーん」
ちいさなこえが きこえてきました。





なっていたのは ちいさな はっぱぼうやでした。

「おふねごっこをしていたら、まいごになっちゃったんだ」

どうやら、はっぱぼうやは、おかあさんと

はぐれてしまったようです。

「きみのおかあさんは どこにいるの？」

こうくんも、はっぱぼうやのおかあさんが、

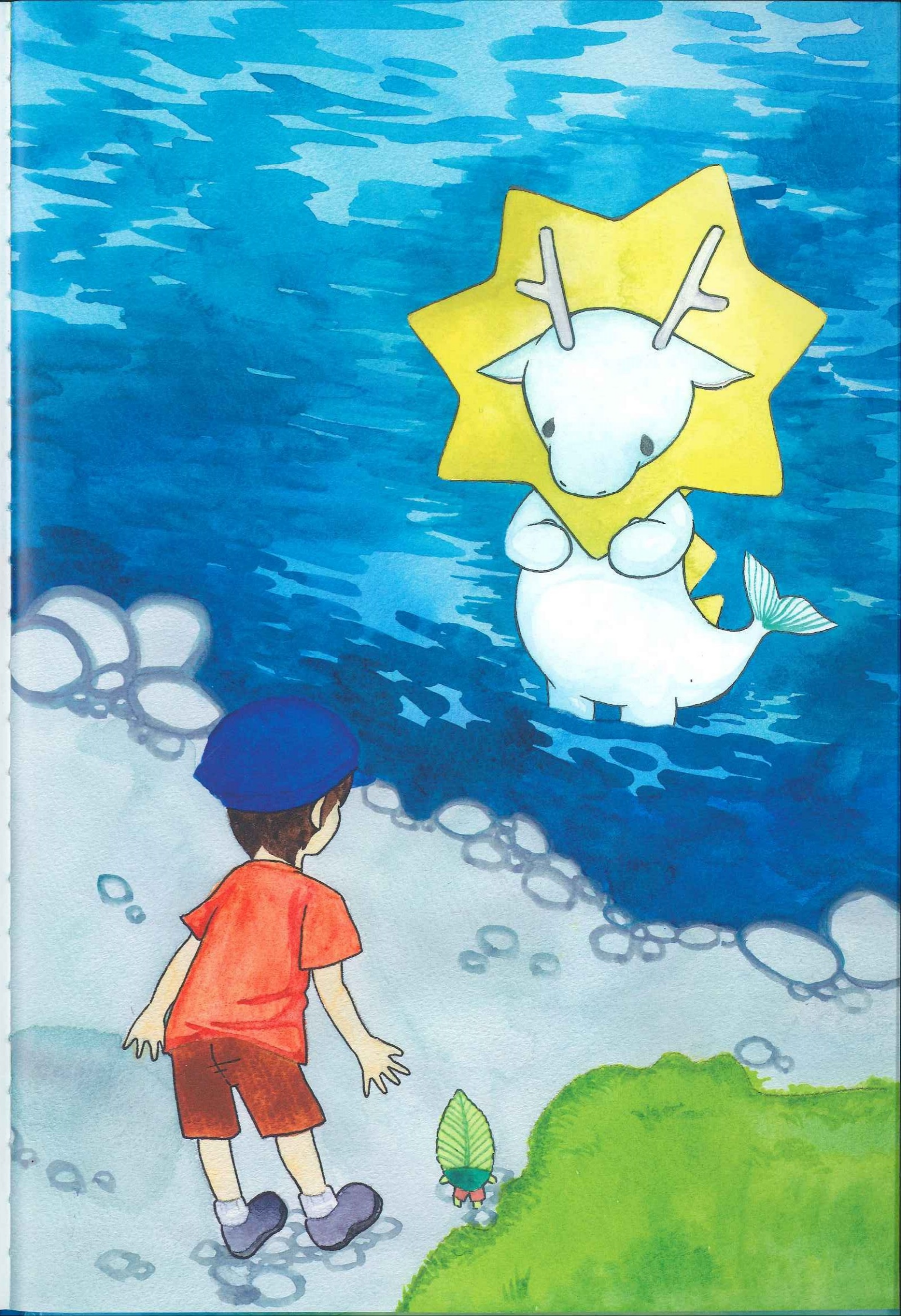
どこにいるのか わかりません。

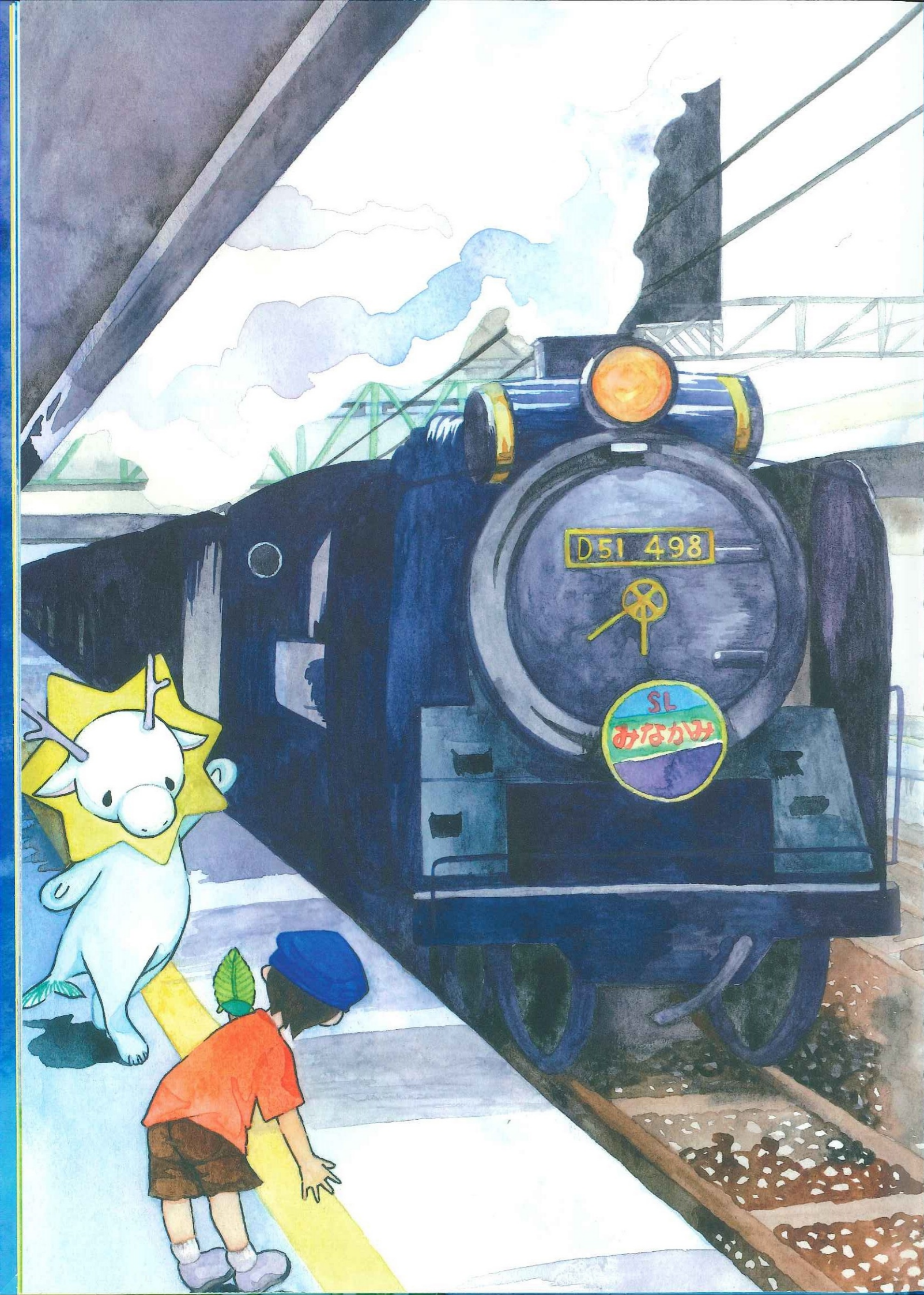
そのとき、かわが、ピカッと ひかりました。

なんと、かわから、へんてこな りゅうが あらわれました。

「ぼく、みなゴン」

「このこは、かわのうえから ながれてきたよ」





すると、みなゴンは、
こうくと はっぱぼうやを、えきに つれてきました。
「このきしゃにのって、かわの うえのほうにいこう」



「うわあー、とってもきれい」

こうくんは、まどのそとを ずっとみていました。

でも、きしゃに ゆられているうちに、

こうくんは きもちよくなって、

いつのまにか ねむってしまいました。

「みなかみえきー、みなかみえきー」

えきいんさんの こえがきこえて、

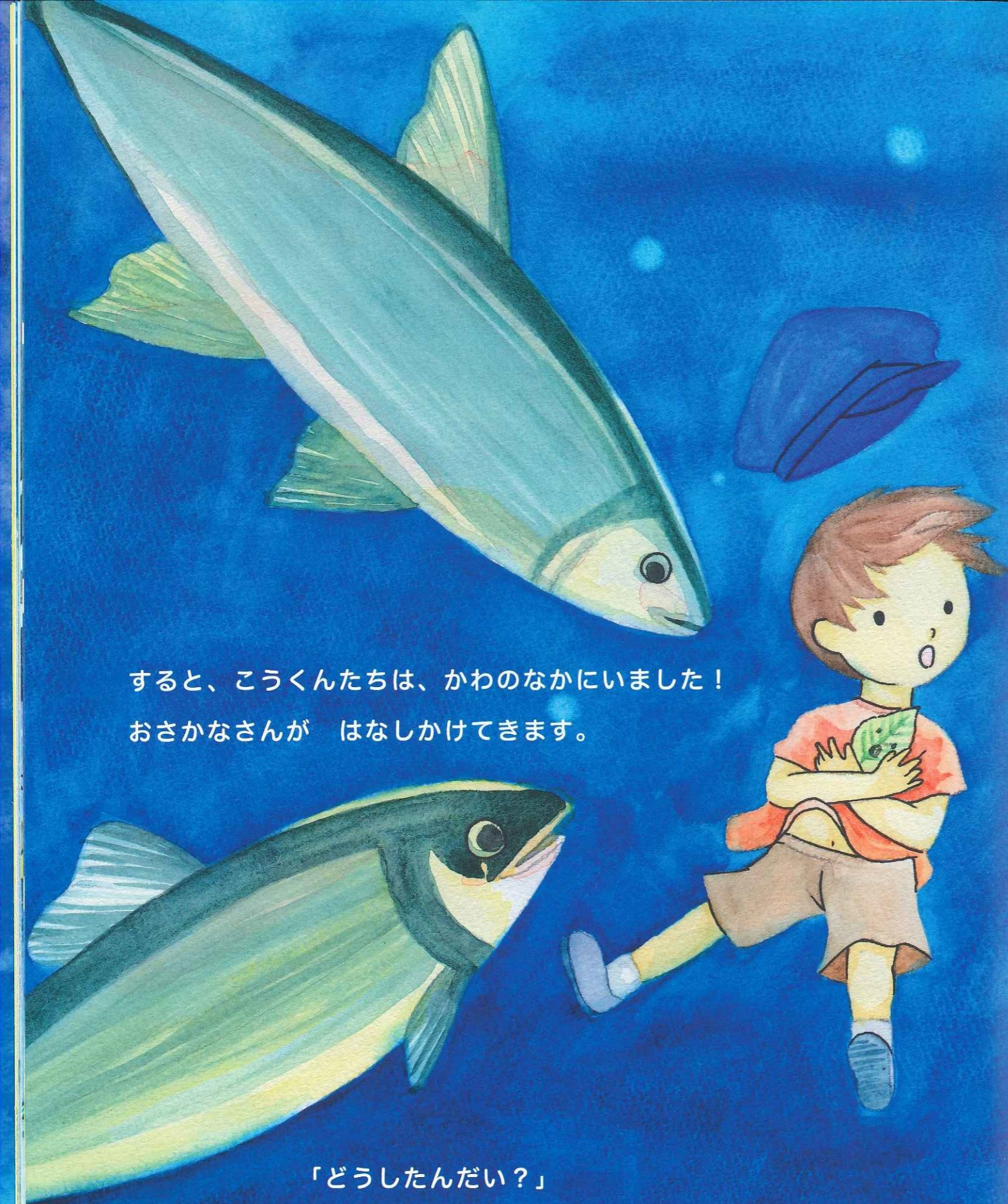
こうくんは、めがさめました。

「さあ、しゅっぱつだ！」

「ねえ、みなゴン、このきしゃは、どこまでいくの？」

「ぼくのような、ようせいたちがすんでいる、

みなかみまちまで いくんだよ」

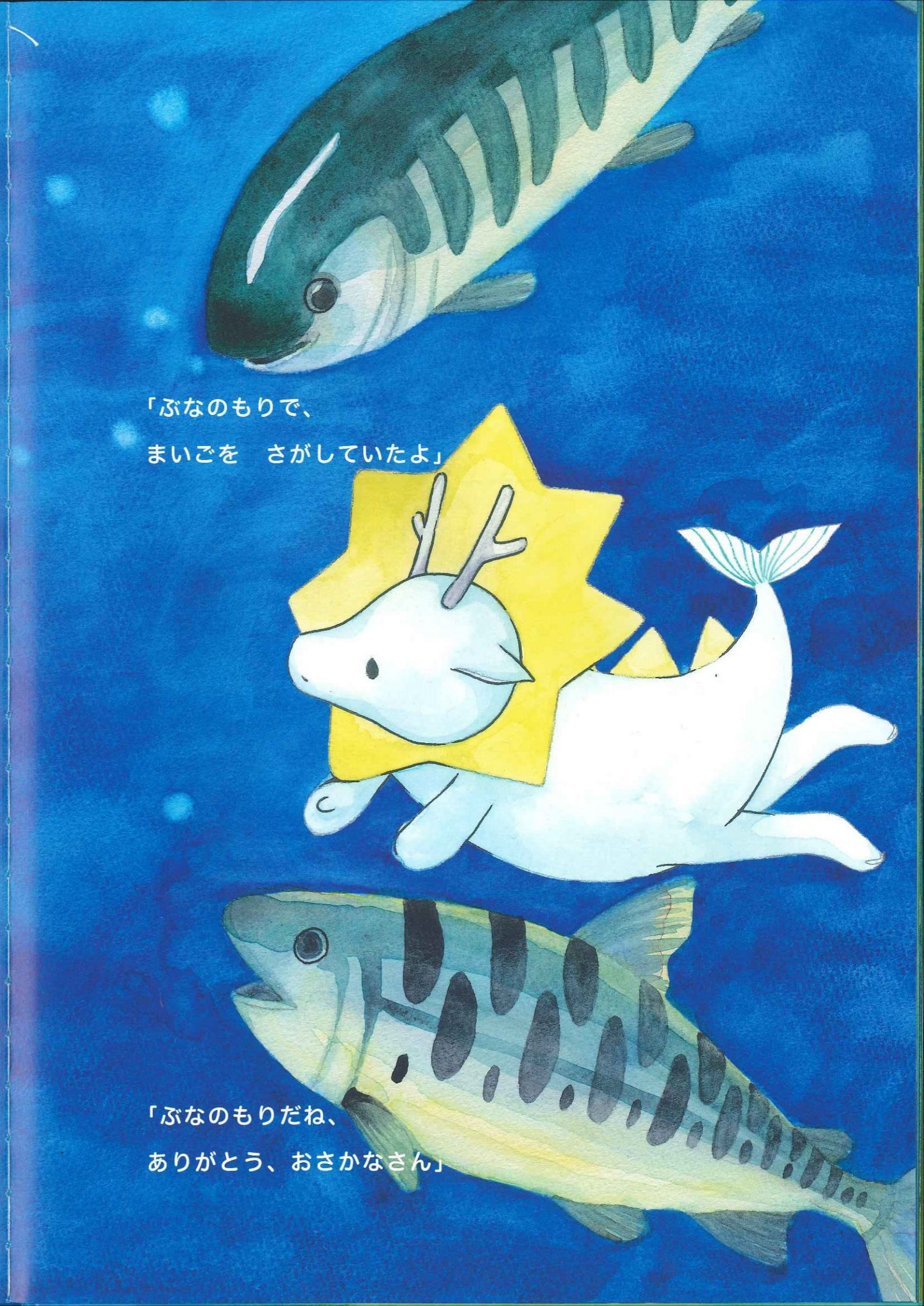


すると、こうくんたちは、かわのなかにいました！
おさかなさんが はなしかけてきます。

「どうしたんだい？」


「このこのおかあさんを さがしているんだ」

「まいごかい？ う～ん、そういえば・・・」



「ぶなのもりで、
まいごを さがしていたよ」

「ぶなのもりだね、
ありがとう、おさかなさん」



みなゴンは、こうくんの てをにぎると、
ふわりと うかびました。
なんと、こうくんたちは、おそらを とんでいます。

「すごい、すごい！」
「やまが、あか、きいろ、みどり」
「あ、ぼくたちが のってきた、きしゃだ！」



「もうすぐ、ぶなばやしにつくよ」
みなゴンと、こうくと、はっぱぼうやは、
おおきな、みずうみのうえを、
すいす〜いと、ぶなばやしまで、とんでいきました。



「おかあさん！！」

はっぱぼうやの おかあさんが 見つかりました。

「ぼうや、どこにっていたの？」

「おかあさん、とっても


しんぱいしていたんだからね」

「こうくん、みなゴン、どうもありがとう」

「よかった、よかった」

「じゃあ、こうくんも、

おかあさんのところにかえろう」



みなゴンは、
こうくんの てをにぎると、
ふわりと うかびました。
おそらはもうすっかり
くらくてまっくら。

「みなゴン、ぼく、もっと
みなゴンと いっしょにいたいな」
こうくんは、さみしくなりました。

「こうくん、ぼくは、
とねがわの ようせいなんだ」
「こうくんのおうちまで、
おみずをはこんでいるから、いつだって、
こうくんは、ぼくといっしょだよ」

ふわりふわり。
こうくんは、いつのまにか、
ねむってしまいました。



「こうくん、めをさまして！」

みなゴンのこえがきこえて、こうくんは、めがさめました。

すると、そこは、さんぽをしていた かわらでした。

かわらのむこうから、おかあさんが、

こうくんのことを よんでいます。

「おかあさーん！」

こうくんは、おかあさんのところに、はしりだしました。

「ぼく、すごい ぼうけんを したんだよ。それでね……」

おしまい。

あとがき

絵本を発行させていただきました株式会社ニューディメンションの木村と申します。
この絵本は、2014年に開催した「みなかみ町絵本コンテスト」の大賞に選ばれた、
あやかさんの作品です。

絵本コンテストは、絵本という物語の力を使って、みなかみ町が持っている沢山の
魅力を感じてもらい、みなかみファンが増えて、遊びにも暮らしにもよい素敵な町
にしたいな！という想いで企画いたしました。

活動に共感してくださった作家さんから、たくさんのご応募や激励のメッセージを
いただきまして、本当に素晴らしい企画となりました。コンテストに参加してくだ
さった皆様に、改めて、感謝申し上げます。

さて、群馬県利根郡みなかみ町は、最北端のとても広い町で、群馬県有数の温泉地
である他に、春から秋にかけて、ラフティングやパラグライダーができ、冬はス
キーヤーやスノーボーダーが集まる、大自然のアクティビティスポットです。
東京から新幹線で1時間ちょっと、車でも2時間ちょっとで行けるので、ご家族
の旅行や、友達とのアウトドアに大人気です。また、SL、谷川岳、首都圏に水を
供給する利根川水系をイメージする方もいらっしゃるでしょうね。

「みなゴン」は、キラキラと綺麗に光る利根川源流の水面から生まれた水の妖精で
す。七角形の襟は、その輝きを表しています。小さくて可愛い竜で、お子様に変
喜ばれるかと思えます。みなかみ町の楽しかった出来事を、絵本を見ながら、ご家
族やお友達と語り合っていただけでしたら幸いです。

みなかみ町絵本コンテスト事務局代表
株式会社ニューディメンション 代表取締役
木村優太

みなゴンとこうくん みなかみ町のふしぎな冒険

発行日 2015年5月5日 初版第1刷発行
作・絵 あやか（絵本コンテスト大賞受賞者）
企 画 みなかみ町絵本コンテスト
発 行 株式会社ニューディメンション
後 援 ホテルサンバード
発 売 リーブル出版
〒780-8040 高知市神田 2126-1
TEL088-837-1250
印刷所 株式会社リーブル

©Ayaka, 2015 Printed in Japan
定価はカバーに表示してあります。
落丁本、乱丁本は小社宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。
本書の無断流用・転載・複写・複製を厳禁します。
ISBN 978-4-86338-118-6 C0771

